

# 今日もたべた？本ごはん

めざせ目標冊数！

とうごうしょうがっこう 東郷小学校 としょかん 図書館だより へいせい 平成26年度 ねんど 11月号 がっこう



## お ぼ ま きせつ 落ち葉が舞う季節



11月7日は「立冬」です。陽の光が弱くなるとともに、日暮れも早くなり、空気

の冷たさに冬の気配が感じられるころです。この日から立春の前日までが冬とさ

れています。立冬のころに吹く冷たい強風を「木枯らし」といいます。もうすぐ天気

予報で「木枯らし1号」ということばが聞こえてくるはずですよ。

さて、11月7日までは「読書月間」です。10月には図書委員会による発表

や親子読書会の方々と先生方の読みきかせ、クイズなど、読書に関するお楽しみが

たくさんありましたね。「ブックリスト」は冬休みの前まで続けていきますので、

5冊読んだら図書室に持ってきてくださいね。「もう1さつかりられます券」がも

らえます。

## お知らせ



○11月の図書室お休みの日：毎週火曜日と10・26・27日

★今月のスペシャルデーは7・21日★

★11/18(火)は移動図書の日です★



# ブックリストと「もう1さつかりられます券」の使い方



★ブックリストについて★

- ① きちんと借りにて読みましょう。
- ② 前に読んだことのある本も、もう一度読んでみましょう。
- ③ 5さつ読み終わった人から順に、ひとり1枚「しおり」をプレゼントします。
- ④ 5さつ読むごとに「もう1さつかりられます券」がもらえます。
- ⑤ 冬休みの前まで使えます。

★「もう1さつかりられます券」の使い方★

- ① 1回で2枚まで使えます。
- ② “4さつデー”の日には使えません。  
(ただし、夏休みと冬休みは使えます。)
- ③ 春休みの前まで使えます。



## 中山の休日 佐々木マキ見本帖 “佐々木マキ スペシャル対談”

10月12日、かごしまメルヘン館で、絵本作家の佐々木マキさんと、こどもの本WAVE代表の穂積保さんのスペシャル対談がありました。

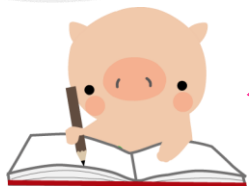
佐々木マキさんといえば、「ぶたのたね」シリーズや、「ねむいねむいねずみ」シリーズなどで、とても人気のある作家さんです。他にも、『なぞなぞライオン』が、3年生の国語の教科書で紹介されているので、読んだことがある人もいでしょうね。

今回は、台風19号が接近する中でのイベントでしたが、もともと漫画家として注目され、その後『やっぱりおおかみ』で絵本作家デビューし人気を集める一方で、村上春樹さんの小説などの挿絵をかくイラストレーターとしても活躍する佐々木マキさんの45年間の活動を振り返っての対談形式のお話でした。

佐々木マキさんといえば、すぐに『ぶたのたね』を思い浮かべる人が多いと思いますが、大人気のあの絵本、実はあまり考える時間がなく、急いでかいた作品なんだそうです。「ねむいねむいねずみ」シリーズも同じ。なので、ご本人としては、なぜこれらのシリーズに人気があるのかわからない、じっくり考えてかいた作品よりも、パツと急いでかいたものの方が売れるのかな…なんておっしゃっていましたよ。

読書の秋、芸術の秋…。何かのプロの人のお話を伺うのは刺激になりますね。秋は毎週末県内各地でさまざまなイベントが行われています。ぜひ家族そろってお出かけしてみたいはいかがですか？

# 11月 今月のいいね!



## ～ ささき とくしゅう 佐々木マキ特集 ～

今月は「佐々木マキ見本帖」にちなんで、佐々木マキさんの本を集めてみました!



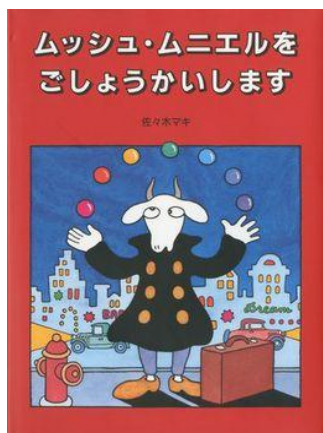
『ぶたのたね』シリーズ (3さつ)  
佐々木マキ/絵本館

足のおそいおかみが、どうしてもぶたをつかまえて、きつね博士から「ぶたのたね」を手に入れます。せつせと水をあげると、みるみるうちに「たね」は育ち、ぶたはみごとにたわわに実ります。ところが! そのとき、ゾウのマラソンの一団がやってきて…。



『ねむいねむいねずみとおばけたち』  
佐々木マキ/PHP研究所

ねずみが旅をしていたよ。一日歩いてくたびれたねずみは、森でひとやすみ。落ち葉の上でねむろうとしたら、突然おばけがあらわれた…。



『ムッシュ・ムニエルをごしょうかいします』  
佐々木マキ/絵本館

やぎのムッシュ・ムニエルは魔術師。子どもをひとりさらって、弟にしようとして町へやってきました。ムニエルの呪文で変な魚の形になった小さなびんは、元気そうな少年をつかまえたのですが…。



『なぜなぜライオン』  
佐々木マキ/理論社

女の子が森できのこをとっていると、「おまえを食べてやる!」とライオンがとび出してきました。女の子はなぜなぜを出してピンチをきりぬけようと思いますが…。ライオンのほか、ヘビ、サイと女の子の楽しい知恵くらべ!



『まじょのかんづめ』  
佐々木マキ/福音館書店

女の子と犬が、いつもの森に遊びに行くと、いつの間にか家がたっていました。そーっと入ってみると、かんづめから「たすけてくれえ」と声が聞こえます。そばにあった缶きりで開けてみると、ゾウやクマがあらわれて…。



『どろぼうたちのよる』  
佐々木マキ/絵本館

どろぼうたちのキャラクターとレトロな色合いがあいまって、とても雰囲気のある絵本! 3つのお話は入っています☆



『「見えない」世界で生きること』  
松永信也/角川学芸出版

働き盛りに失明——。訓練のおかげで、メールもできるし、ひとりでどこにでも出かけられる。でも見えない壁で、仕事がない。普通の人生を送りたいのに送れない——本当の「見えない」世界をつづるエッセイ!

さつまさんだいげんきじやく 薩摩川内元氣塾 まつなが 松永さんの本!